

月刊

おでかお



12

今月のしでかし～年末恒例しでかし納め～

12月5日に今年もおなじみの喜山倶楽部にて忘年会がありました。忘年会恒例のポラ券が発行、途中から暇そうにしていたお手伝いさんのゆかりちゃんが担当。精算合ってたかな？(笑)。受付では神経衰弱ゲームが行われている。昔のメンバーの名詞が伏せておいてあり、2枚同じならもう1ゲーム、はずれならどちらか1枚をお持ち帰り。さらに希望者にはSKI基金に100にて1ゲーム。そんなこんなで受付は長蛇の列。結局20分押しで忘年会はスタートしました。挨拶の後、メンバーがプレゼントを手渡ししてくれます。その間に美香ちゃんと朋ちゃんが軽妙なトーク(笑)。お鍋大好きという美香ちゃん、今年のお料理はおでんです。こたつ大好きな朋ちゃんは、もぐって寝てしまい風邪気味だそうだ。「去年みたいに飲み過ぎないでくださいね」と注意事項(笑)。メンバーからのお酌も禁止ということで、かわりにKA0さんが廻っていたようでした。乾杯の後、メンバー抽選。12班に分けられたお客さんに対し、受験休みや中井ちゃんの体調不良もあってメンバーは9人。あぶれた3つの班の代表でじゃんけん争奪戦により、ゆかりちゃんを招致。こちらはお酒はOKなようだ(笑)。まずはメンバー一人ずつ「一年を振り返って」。テーブル準ということで、1班の文香ちゃんから。文香ちゃんの自己採点は70点。良い思い出は寿隊のアルバムリリース。Hellowのアルバムも1/1にリリースされるので、レコード屋さん閉まってるとけど頑張って聞いてくださいとのことでした(笑)。この年を振り返って成長したと思うし、作曲も今はピアノをさわるぐらいしかできないけど頑張っていくとのこと。長々と感想を述べた後、「食べた～」と言葉を残して(笑)歩ちゃんにバトンタッチ。75点という歩ちゃんはノストラダムスが嫌いになったそう。最近自分の年齢を言うのが恥ずかしくて罪を起こしたような気がする、17～18才とサバをよんで言ってもまだ若いと言われるそう。寿隊のイベントに、朋ちゃんとお客さんとして参加したのが思い出とのこと。その朋ちゃんは70～80点。良かったわけでもないけど悪くもなかった点とのこと。じゃあ、テストの良い点ってどのくらいなのかなあ(笑)。バースディパーティーとベトナムで祝ってもらい嬉しかったとのこと。舞香ちゃんは100点。これって何点満点ですか？(笑)高校に入ってはじめての文化祭が楽しかったとのことでした。でも成績はあまり良くないらしい。えりぴよは40点と厳しい採点。5月のソロコンサートの結果が気に入らないらしい。こんどのソロコンサートは絶対に失敗しないと気合いを入れていました。入ったときより歌が好きになった年だったそう。美香ちゃんは75点。19才って自分の中ではちょっと半端な年らしい。ベトナムへ行って違った国の子供とふれあったのが一番の思い出だそう。「飲んでないですよ」と登場したのはステージ以外ではいつもハイテンションの真子ちゃん。1日1日が早く感じるとのこと98点。コメントに詰まる真子ちゃん、「前のことを忘れるタイプ」と発言して「これからのことを想像するタイプ」とフォローしていました。でも来年のことはまだ考えていないらしい(笑)。寿ツアーが印象に残っているようだ。お客さんの突っ込みに、「スポーツ大会は0点じゃないですよ～」と反論していました。波平ちゃんは88点。バースディをみんなに祝ってもらって幸せ者とのこと。体調不良で入院したことが気に掛かるようでした。受験のストレスが影響したのでしょうか？さおちゃんは63点。あまりコンサートとか出ていないので、みなさんとの思い出が少ないと気にしていました。野菊の墓で覚えた台詞が無駄になって悲しかったそう。来年は良い年になるといいですね。

続いて「新人さんいらっしゃい～」のコーナー。今年も新人のお客さんを紹介。GONでSKIを知ったそう(苦笑)。スタッフの紹介では玲子ちゃん登場。でももう3年目なんですけど。メンバーの新人さんはピエール小梅さん。欠席しているゆみみの友達らしい(笑)。他の子は前日にオーディションを行ったそうで、1月公演をお楽しみとのことでした。続いてビンゴゲーム。今年は抽選器が登場。えりぴよにゼロを言わせない工夫でしょうか(笑)。等は希望メンバーとのポラ。2等は写真3枚、3等は写真1枚。ゆかりちゃんはリーチまでしか行かなかったが、等になったら誰と撮ろうか悩んでいたらしい(笑)。最後に残った賞品を巡ってジャンケン大会。白熱したバトルが繰り返されました。「惜しかった方は残念だけど、その運は2000年にいかして」とえりぴよ、その運を使ってしまった方にはフォローしなくて良いのでしょうか？メンバーチェンジの後すかさず「班対抗歌合戦」。メンバーと班員が一体になってパフォーマンス(?)をするコーナー、1班から順番に行われ、「後ろの班ほど練習する時間があってずるい」企画でした。司会のゆかりちゃんに代わって小梅ちゃん参加、あぶれた班に助ッターで朋ちゃん・えりぴよが参加。班全体で盛り上がる班やメンバーお任せの班などあり、ファンさんの企画が左右したようだ。「朋美の唄」なども企画された。審査はゆかりちゃんとKAOさんの独断にて決定。準優勝は蟹踊りが楽しいえりぴよの3班、優勝はダンシングセブンティーンで盛り上がった美香ちゃんの6班が輝きました。



「地球に愛を」を熱唱した寄合班、「若き…」でひげダンスをやれば優勝だったと思うのですが(笑)。歩ちゃんは後悔していたようでした。優勝チームにはポラが進呈。その間にメンバーからのクイズ大会。出題順は靴のサイズで。舞香ちゃんが一番小さいようだ。舞香ちゃんのストレス解消法は泣くことらしい。お買い物大好きなえりぴよは最近花柄のスカートを買ったそう。ビーズの手芸に凝っている美香ちゃんはピエロの人形に挑戦したいらしい。真子ちゃんは編み物でマフラーを作ったそう。続いてリクエスト大会。今年もメンバーが数人に分かれて熱唱。「なくて七癖チーム」が川野・寄合・波平でお誕生日、「人の振りみて我が振り直せないチーム」が三浦・遠藤・小田・西堀で一人ふたり、「美香に釘チーム」が橋本・秋山・小梅で同級生を歌いました。このチーム名は誰が考えたのでしょうか？最後に2曲歌って三本締め。「また来年も暖かく迎えてくださいね」と忘年会を終了しました。



今月のコンサート

11月20日から23日にかけて浅草のアドリブ劇場にて制服の日が行われました。このアドリブ劇場は収容人員が少なく、連日満員のコンサートとなりました。

11月20・21日は「演劇歌謡祭'99」が行われ、「おパカサンチーム」・「お利口さんチーム」・「チビっ子チーム」・「カントリーチーム」・「カワユイチーム」と組分け。誰がどのチームに登場するのか話題になっていました。『私の演劇日誌』ではメンバーの演劇にまつわる話をするコーナー。舞香ちゃんは小学生の時、ごんぎつねの主人公をやったが最後に死ぬのを忘れてしまったそう。美香ちゃんは羊役のオーディションに落ちたそう。なぜか羊の話題になることが多く、「今後のレッスンに響くから」と話題をさけるメンバーも(笑)。『演劇研究討論会』はメンバーの日頃思っている芸能人のイメージが語られました。美香ちゃんは陣内孝則さんの芝居がくさくてだめらしい。文香ちゃんは神田うのさんが台詞を3行しか覚えられないと発言、「インターネットに書かれちゃう」との意見に、その後はインターネットを意識していたようだ。前座の『SKi 日本昔おかし不思議』は、メンバーが昔ばなしを朗読するコーナー。えりりんは、天女のはごろもを朗読した時、天女が素っ裸でいると知ると、隣にいた中井ちゃんを叩いて喜んでいったようだ。某メンバーからエロリンと呼ばれているだけはある(笑)。中井ちゃんは、題名を犬とワンちゃんと言った後「犬と茶碗だった」と訂正。題名だけで大爆笑となりました。中井ちゃん受験大丈夫かなあ。このコーナーの時に効果音担当として美香ちゃん・中井ちゃん・えりりんが演奏、話の内容に合わない音が出たりして笑いを誘ってました。次が野菊の墓のお芝居。例によって台本が先に発売されていたのであるが、朋美ちゃんが大活躍。お客さんの出番はありませんでした(笑)。芝居中に出てくるリンドウ、本当は何処に咲いているんだろう(笑)。カントリーチームで船頭が出てくるタイミングが早かった時、一つ前の船ですからとフォローする美香ちゃん。さすが機転がききますね。リンドウと間違えて野菊を取ろうとした政夫えりりん、「政夫さん、それは野菊」民子舞香に突っ込まれていました。カワユイチームは金平糖の代わりにビックリマンチョコだったり、民子の最後を揺らして死なせてしまう母えりりんという、パロディと化していました。中でもお仙とお僧を一人で演じた文香ちゃんに会場大爆笑。顔半分ずつメイクを分けてアシュラ男爵のよう。そのまま歌で、正面を見せるだけで爆笑となる会場。最後のボラも正面での撮影は禁止となっていました。

11月22日は「インディーズパーティー'99」が行われました。メンバーは私服で登場し、普段歌わない曲も披露されました。今年も作られた曲「インディーズパーティー'99」は美香ちゃんの作詞作曲。練習をしたけれど、まだ覚えているかな？ 終演後のテキヤのツーショットではギャブル性も加わって参加する人が増えたりしてました。

11月23日は「SKiの文化の日」が昼と夜の部の2公演行われました。まずは『研究発表』。メンバーがそれぞれこの日のために研究してきたテーマを発表しました。

歩ちゃんは時間がなかったので身近な話題からとUFOについて(笑)。どこが身近なんだ？たわしを投げてそれがたわしとわかるまでは未確認飛行物体だとか、ナチスや南極の謎について熱弁を振るっていました。舞香ちゃんは真面目に介護保険について。今回の家庭科の期末テストに出るそう。朋美ちゃんはジーパンの出来た理由について。英語の教科書にあった話だそう。みんな勉強がんばってね。文香ちゃんのはのどについての研究。「のどちんこ」のことを「のどひこ」とも言うとのことだか、その言葉にうける真子ちゃんと中井ちゃん。さらにメンバーの「のどひこ」の絵が出てきて会場大爆笑。次は『SKi のお勉強の時間』。昼の部は漢字、夜の部は英語の授業でした。漢字の読みで、馬面をにこにこして答える真子ちゃん。自信のある時の顔は違うね(笑)。「悪戯」に会場から真子ちゃんをよくやってることだというヒントに当てた真子ちゃん。でも、出題する漢字が間違っていたりもしたようだ。がんばれ、出題者。木編のしりとりでは真子ちゃんが最後まで残って優勝。実は真子ちゃんって漢字得意なのか？四字熟語の穴埋めでは、「暴飲暴食」を当てたにもかかわらず「バクインバクショク」という文香ちゃん。文香ちゃんはボケまくってました。英語の授業では司会は朋美ちゃん。単語を英訳するコーナーでは、knife とか kitchen とか間違え易いものが出題されたが、会場からいじめだとの声が出るとヒントをくれる朋美ちゃん。英文を和訳するものについては洋楽等の歌詞が使われたようだ。次は『オークション』。ってそんな題名ではないですが(笑)。例によって高騰する落札価格。美香ちゃんの4万円が最高だったようだ。今回の目玉は朋美ちゃんの家で取った葉っぱと石で作ったうさぎの絵。「いやだ、これあげない」と最後まで抵抗していたが、ベトナムの子供達が待っているという歩ちゃんの説得でオークションを。1153 円という半端な価格で落札され、意味を知って怒る朋美ちゃん(笑)。『SKi 文化の日得意の手料理』では、クラッカーにいろいろのせて作るものだった。歩ちゃんは相変わらず宇宙風のものを作っていたようだ。文香ちゃんは納豆。かき混ぜる姿がとても幸せそうでした。昼の司会兼審査委員長がえりりん。お客さん2名に試食してもらったところ、美香ちゃんのが一番おいしいとのことだが、ベビースターラーメンを使った朋美ちゃんを独断と偏見で優勝に。実は夜の部で司会兼審査委員長の朋美ちゃんを買収するためだったらしい(笑)。夜の部でしきりに朋美ちゃんをつつくえりりん(笑)。優勝者の発表の直前まで朋美ちゃんに「さっきの恩を忘れてないでしょうね」と確認をしていたが、結局朋美ちゃんは無情にも舞香ちゃんを優勝させていました。次が『クイズにコーナー』。真子ちゃんの昭和は何年まで続いたかという問題に、1964年、1961年、1963年の3択。昭和時代を知らないんですね。朋美ちゃんは、今年は読書の秋で何冊読んだか？の回答は0冊。やっぱり食欲の秋だったんでしょうか。



今月のしでかし～幸運のサマージャンボ～

11月28日にサマジャン9等「シークレットライブ」が行われました。コミティーの広いレッスンルームの真ん中あたりに13個の椅子が並んでいる。もうちょっと広く使えばいいのに(笑)。まず最初はシークレットライブということで、自分の秘密をいいながらメンバー紹介である。内容は秘密なのでヒ・ミ・ツ(笑)。続いては客の方も自己紹介。名前とSKI暦とサマージャンボに当たった感想。13人であるので、そんなにこともなげに終了。サマージャンボはたくさん買っている人もいれば、数で当たっている人もあり、人生いろいろである。続いてはSKIをどのくらい知っているかの「SKIを知ってるQ」。

7問正解者がふたりいて決勝戦へ。決勝問題「川野朋美の生年月日は？」が出されたが、なかなか当たらない(笑)。「わざと外してるんじゃないですか？」と悲しむ(ホントは怒る)朋美ちゃんの姿が見られたが、すぐにいつものかわいい笑顔が戻る朋美ちゃんであった(ちょっとヨイシヨ(笑))。シークレットライブのくせにここまで全然歌がない。なってことだと思ったらここから11曲続けての歌。「今日はアンコールがありません」ということで、2時間ほどのシークレットライブは終了しました。



同日にサマジャン9等「シークレットピクニック」が行われました。集合場所のアルタ前からコミバンに乗って移動開始。今年もデニーズでメンバーと合流。10時位に待ちに待ったメンバー3人(寄合・秋山・西堀)のご登場でようやく飲み物を注文。メニューが配られると真剣になるメンバーの目(笑)。朝のメニューなら納豆があったのにね。冷静に「アイスカフェラテ」と注文する歩ちゃんにどこからともなく「オートナ〜」の声。文香ちゃんは紅茶もコーヒーもダメらしく「飲める物がなーい」と困った様子。お茶オンリーらしい。1時間ほどして新宿御苑へ移動。昼食を済ませてレクリエーションタイムへ。まずはゴム風船ボールでメンバー・客全員参加円陣パス。ミスをした人から抜けて行って、最後まで残った客が希望メンバーとツーショットボラを撮りました。そして歩ちゃんがやりたそうにラケットをいじっていたバドミントン。シャトルがないので途中で買うつもりだったが、売ってなかったので却下状態だったのだが、やりたい一心で歩ちゃんがペットボトルの蓋を工夫してシャトルを自作。器用ですね。開始早々ルールが二転三転(苦笑)。結局客1人対メンバー3人が交代で対戦、5点先取制が採用されました。客が勝てばツーショットボラ、負ければ罰ゲームとのこと。なかなか罰ゲームに名案が出ないので、去年は「一押しのメンバー名を大声で叫ぶ。」だったのアドバイスに「それい〜」と唱和(笑)。次は、自信がある歩ちゃんの押しで腕相撲に。単に試合をしても面白くないので八百長がおっけーに(笑)。しかし、メンバーリーグ戦は3人とも勝敗になって真剣勝負でやりなおいに。結果、寄合>秋山>西堀と順当に決着しました。楽しい感想を述べたあと、最後に握手をして終了しました。

12月5日にはサマジャン6等「ティータイム」も行われました。本日ご指名を受けたのは中井ちゃんとえりぴよ。本当はコミティ近くで行う予定でしたが、近所の喫茶店は軒並み日曜休み。さすがビジネス街。結局撮影会組の車に乗って都庁の近くのホテルのカフェへ。コーヒが800円もするようなところでチョコレートパフェを食べたえりぴよ。メンバーにもお得な企画だったようだ。でもそのパフェがなかなか来なくて30分の予定が45分くらいに延びたらしい。そのファンさんにとってはまさに「ラッキーサンデー」でしたね。(ラッキーパフェかな？笑))

同時刻に都内某所にてサマジャン4等「シークレット撮影会」が行われました。これは事前に指名したメンバー一人と対峙約30分見つめ合える(ファインダー越しだけど)という、もしかしたら愛が芽生えてしまうかもしれない(笑)ナイスな企画でした。当日は1時に事務所に集合でメンバーが現れると目的地へ移動。当初はコミバンにて新宿西口公園へ移動との予定でしたが、上記の事情により西新宿の某ビルに変更。この賞品には「メンバーと散歩」の副賞も付いてきました(笑)。しばし談笑しながら現場に到着。ビルの前庭で大通りより殺低く、周囲から見えなく車の音もあまり届かない、なかなかいい場所です。こちらのご指名は文香ちゃんと彩乃ちゃん。文香ちゃんは白のコートにピンクのマフラーと、いつもに増して女の子チック。ただ屋外の上に薄曇りの天気とあってちょっと肌寒い。彩乃ちゃんも懐炉を手にシャカシャカ振っている。文香ちゃんはこの2日後の火曜から期末テストだそうでちょっとお疲れ気味様子。授業中いつも寝てるから卒業できるのかなかなりヤバイらしい(笑)。せめて授業中はちゃんと勉強しようね。そんな二人だけの会話を楽しみつつ、普段はあまり使うことのできないレフや小道具を思う存分使用。彩乃ちゃんは梅干し食べながらじゃないと勉強できないらしく、食べてからじゃないと眠れないそう。食べ過ぎないように個数を決めているとのこと。家族全員好きだそう。梅干し持つと笑顔が違う(苦笑)。楽しい時間は経つのが早いもので、あっという間に終了。機材をまとめ再びコミティまで散歩。事務所の前で挨拶を済ませ解散となりました。近くのジョナサンにお昼を食べに入ったら、そこには真子ちゃんたちがいましたとさ(笑)。といった具合にみなさんの知らないところで一つのドラマ(喜劇?)が生まれていたのです。来年これが当たった幸運な人は本当にラッキーです。みなさん頑張って買い占めてくださいね(笑)



サマジャンの3等は「メンバー手作り弁当」。当選者たった1名のこの賞品、滅多に経験できない貴重な体験ではないでしょうか？ その栄えある幸運を手に入れた方は、なんと寄合ちゃんをご指命。あの『クッキング・ダンシング&シャイニング』公演で印象的なパフェを作り、審査員の朋ちゃん&えりぴよを震えさせた事件はまだ記憶に新しい事でしょう。しかし、そんな歩ちゃんもファンさんのためなら冒険心を押さえ、心を込めたお弁当を作成したようです。そんな体験記を紹介いたします。

弁当を作ってくれたのは、料理のアイアン女子高生、寄合歩ちゃん。彼女が料理に関してどのくらい鉄人かというのはみなさんご承知のことと思います。そんな期待と不安をいただきつつ、もらったお弁当は… 美味かったです。and、きわめて普通でした(笑)。おかずが多くて豪華でした。揚げ物の中身はメルティキスとか、マヨネーズかと思ったら生クリームだったとか… そんな無茶はメンバー相手じゃないとできないですよ。味はGoodでした。ごちそうさま！ 今回の当選については、弁当の味はもちろんですが、それ以上にもらう瞬間がドキドキでよかったです。忘年会のリクエストコーナーで小田ちゃんが歌っていてお客さんの目がそっちに向いてるときに寄合さんがトコトコやってきて、「はい」とばかりに渡してくれた、というのがよかったっす。寄合さん手間かけさせてすみません。来年もよろしく。(また当てるつもりか？)



今月の新入生

12月5日にSKiの忘年会が行われ、恒例の「新人さんいらっしや〜い」コーナーがありました。今回登場したのはピエール小梅^{ビエールこうめ}ちゃん。いきなりトナカイのぬいぐるみを頭から被って登場した小梅ちゃん、立派なお髭が印象的です。ゆみみのお友達とのことで、やっぱり受験生。追い込み状態とのことですが、息抜きになったのでしょうか？



また、スタッフの新入生として牧野玲子^{まきのれいこ}さんが紹介されました。美大の4年生です。実際は96年のクリスマス公演から登場、物販コーナーで美声を聞かせてくれていました。最近はイベントの受付などで、活躍されています。歌もお上手とのことで、是非一度聞かせてもらいたいものです。KAOさん、「スタッフ指示読み上げの唄」なんて作ってもらえませんか(笑)。



なお、12月4日には6期生のオーディションがあったとのこと。「可愛い娘がいましたね〜」と美香ちゃん。「昨日の今日は無理」とのこと、1月公演を期待しましょう。思わず手紙を送りたくなるような娘もいるかもしれませんよ(笑)。

今月の語録

11月24日にレッスルルーム SKi にて「激突！灰野敬二 vs サエキケンゾウ」が行われました。今回はアコースティックでということでG Sのカバーを4曲熱唱してくれました。灰野さんの印象は秋山「不思議なオーラを出す人」。三浦「猫の話をした、優しい方」。橋本「見た目じゃない、気さくな人」。サエキ「面白い人、ぜひ話してみたかった」とのこと。聞き出し上手なサエキさんに灰野さんも滑舌になり、あっという間の2時間。一番のききどころは空港で誤解され拘留された話。そんな時頼れる相手こそ本当の友達だと語りました。後ろで聴いていたメンバーの感想は、橋本「メッセージは考えたらずこで止まってしまう」。三浦「みんなが笑う時、一緒に笑えなかった。名言集作りたい」。秋山「音楽についてこれだけ語れる人は初めて」とのこと。春には IJR からCDも出る灰野さん、来週には三軒茶屋で4日間ライブもあり、精力的に活躍するようです。

～～えりびよのための名言集～～

- ・ほとんどの人は、何かのつもりでやってるだけ。つもりじゃなく、本当に好きになれ！
- ・「本物はかたらず」自信はあとからついてくる。やってるという自負。
- ・似た者がいたら、格好悪いことに気づけ。
- ・「すごい！」は逆差別だ。集団から浮いていること。
- ・バンド側が出したい音を出せば、客を巻き込める。
- ・どんな時でもステージ上では意識として、全身で音楽をやってる。
- ・テクニックに走ると厚みがなくなる。
- ・孤独だけど、孤立しちゃいけない。わがままであっても自分勝手ではいけない。
- ・癒すのはその人より深い傷を持った人にしかできない。
- ・刺激にならないものを聴いても仕方が無い。
- ・知識も含めて身体に入ると重くなる。動けなくなる。それを開放してくれるのがRockだ！
- ・言いたいことがある人がVocal。メッセージを持っている。考えるものではない。
- ・意識が集中できなければ音楽が好きではないということ。

～～前回の名言集～～

- ・楽しいと好きは違う。好きと思ってるだけじゃないか？好きなんて30年ぐらいやらないと言えない
- ・一生懸命やれば声は出る。説明なんかいらんない。
- ・人は変わらない。見せ方が変わるだけ。
- ・あきらめなければきっと望みはかなう。

小さなしでかし

いよいよ今年最後のコンサート。1年も早いものです。今月はえりびよのソロコンサート・寿隊公演がありました。「今度は失敗はしない」との意気込みで挑んだえりびよでしたが、音響のトラブルで拍子抜けしたのではないのでしょうか？。新ユニットも誕生し、今月は忙しい月になったのではないのでしょうか？

今月の月刊 SKi の司会は美香ちゃん。創刊号以来の出番に、「こんなに続くとは思わなかった」とコメント。これは誰でも思うことなのでしょう。当紙も同感であります(笑)。いったいいつまで続くのでしょうかね。そうそう、今月のOGコーナーはゆっきいがゲストでした。

オレンジに輝く初日の出
おもわずパクリといきました

農協のオレンジ

